

2020（令和2）年5月1日

保護者の皆様へ

筑波大学附属高等学校  
校長 藤生 英行

### 「オンライン授業」の実施について

日頃より、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

本校では臨時休校期間の長期化を見据え、4月11日よりオンラインによる教育活動を試験的に開始し、生徒の学習保障に向けた取り組みを進めて参りました。

先日お伝えした通り、臨時休校は5月30日まで延長することといたしました。そこで、今までの取り組みをふまえて改めて整備した上で、5月11日より「オンライン授業」として本校の教育活動に位置づけ、実施することといたします。また同時に、生徒会や各種委員会等の生徒の諸活動も可能な範囲で取り組めるよう、さらなる整備を進めて参ります。

「オンライン授業」の準備にあたり、4月18日に行った全校生徒対象アンケートの結果を全教員で共有し、その分析を手がかりとしました（文末資料をご参照ください）。生徒個々の環境の違いによる個人差はありますが、学習面、生活面双方でいくつもの対応すべき課題が見てとれました。これらを解決すべく、下記の通り「オンライン授業」の要項を定めました。あわせて、保護者の皆様にご協力をお願いしたいことも掲載いたしましたので、ぜひご一読ください。

#### 1 「オンライン授業」実施要項

##### (1) 目的

- ① 平常時と変わらぬ質の高い教育活動を展開し、生徒の豊かな学習活動を保障する。
- ② 計画的、継続的に実施し、生徒の基本的な生活習慣、及び学習習慣を確立させる。
- ③ 本校の重視する対話的な学びを中心に据えた教育活動を、できるかぎり実現する。

##### (2) 期間

5月11日(月)より開始する。

※臨時休校期間が終了するまで実施する。

※5月9日(土)までは、現在行われている枠組み（4月21日に連絡）で実施する。

##### (3) 実施形態

下記①～③のいずれかまたはその組み合わせで実施する。

①ライブ配信授業：オンライン会議システム（Zoom、Meet等）を活用した双方向的な生配信の授業

②動画配信授業：事前に作成した動画コンテンツによる授業

③テキストベース授業：Google Forms、ドキュメントデータ（PDF、Google Document等）、紙ベース（ワークブック等）で課題を出す授業（活動の指示のみのものも含む）

※各家庭のインターネット環境や、家族と機器を共用する生徒もいることを考慮し、①～③をバランスよく配置することとする。

##### (4) 方法

新たに「オンライン時間割」を作成し、全科目下記A、Bのいずれかまたはその組み合わせで実施する。

課題配信	8:00	← 時間は変更の可能性あり
朝体操	8:30～ 8:45	
1時間目	9:00～ 9:50	
2時間目	11:00～11:50	
3時間目	13:00～13:50	

※本時間割による授業は、月曜日～金曜日で実施する。

A オンライン時間割に配置される授業

オンライン時間割に即して、ライブ配信または動画配信を中心として行う授業

B オンライン時間割に配置されない授業（課題配信）

各科目所定の曜日、時間に Google Classroom で配信される、テキストベースを中心として行う授業（動画配信もあり得る）

※具体的なクラス毎のオンライン時間割及び課題配信の曜日、時間は、5月9日までにお伝えします。

(5) 評価方法

学校の正式な教育活動として位置づけており、この期間の活動は評価対象になる。ただし、特別な状況下にあることを考慮し、生徒の不利にならぬよう適切な評価方法で行う。5月9日までの教育活動については、各科目の課題内容と生徒個々の事情を鑑み、柔軟に対応する。

## 2 保護者の皆様へのご協力のお願い

(1) 引き続きお願いしたいこと

- ・健康観察の習慣化 : 毎朝の検温、健康チェック（ご家族も含む）
- ・基本的生活習慣の確立：起床、食事、就寝時間の一定化 朝型への転換

(2) 新たにお願ひしたいこと

- ・お子様が「オンライン授業」に取り組む環境作り

学校ではなくご家庭が学びの場になるということで、保護者の皆様には少なからぬご負担をおかけいたします。一方でまた、この休校期間は見方を変えると、保護者の皆様に本校の教育活動を普段以上に見ていただける機会であるともいえます。ぜひ、オンラインの時間割にてどの時間にどのような授業配信があるかを把握していただき、機器などの環境整備や、お子様への励ましの言葉などによるご支援をお願いいたします。

まだまだ先の見えない状況は続きますが、学校再開後の授業及び学校生活へのスムーズな接続を見据えた上で、学びの本質や学び続ける姿勢を大切に、充実した「オンライン授業」を実施していく所存です。世間では9月入学への移行の議論もされていますが、仮にそうだったとしても、この期間の教育活動の成果を土台として、その上に発展的な学びや行事等の諸活動を積み上げることで、より充実した生徒のスクールライフを作り上げていくことができると考えております。

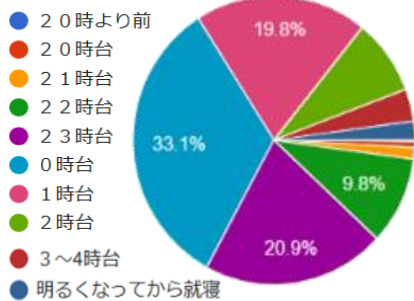
保護者の皆様におかれましては、なにとぞご理解、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

〈学習面〉

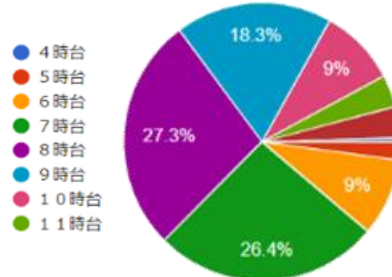
- 教員によってやり方がバラバラであり、スケジュールの把握ができない。  
→ オンライン時間割、課題配信の曜日時間枠を設定する。
- 授業内容への質問や授業方法への要望等を、担当教員に伝えることができない。  
→ メール、限定公開コメント等、担当教員が連絡方法を生徒に明示する。

〈生活面〉

● 就寝時間



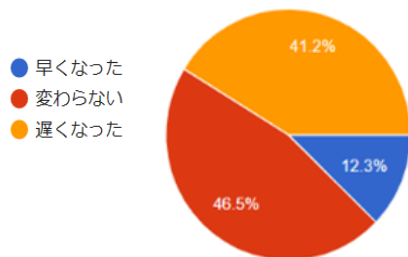
● 起床時間



夜12時までには寝る生徒は3割、朝9時以降に起きる生徒は4割ほど。午前2時以降に寝る生徒も2割ほどいる。現時点ですでに完全夜型になっている生徒が1~2割いると考えられる。

→ オンライン時間割による授業を設定して毎日の学習の場作りをするとともに、午前中の枠にライブ配信授業を多く配置することで、生徒の生活習慣の確立を支援する。

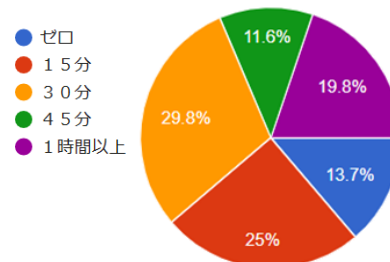
● 就寝時間の休校前との変化



夜型に向かう傾向にあると考えられる。休校長期化によりさらに進んで夜型を定着させてしまう危険性がある。

→ 青少年の学校再開後の生活リズムへの適応を考慮し、毎日の始業時間を8:30として、朝型への転換を促す。

● 1日の運動時間



全体として運動不足。自由記述にも多数書かれている。ストレス等精神面にも影響は大きい。

→ 全学年、朝体操を継続して毎日実施する。